



福音丸新報

No. 93
2018年
12月24日

日本バプテスト同盟内海部会・瀬戸内海伝道団
委員長：石塚多美子
722-2411
広島県尾道市瀬戸田町
瀬戸田378-1
瀬戸田バプテスト教会内

巻頭メッセージ

「その人は知らない」

マルコによる福音書

4章26節〜29節

石塚多美子師



瀬戸内海の島々に存在している教会、それは、120年近くも前に始められた福音丸での福音宣教の実りとして現れているものであることを、現地に来て肌で感じています。しかし、それは決して完成ではなく、神様のお働きの途上であり、その福音宣教という業は、それぞれの教会が継承し続けている現在進行形であるという明確なメッセージを、私は日々受けながら、生口島を拠点として、生かされ働いています。内海部会の教会の方々とも、より親しく関わられるよう、部長としての役割まで頂き、本当に感謝しています。

その中で、神学生の時、25年も前に訪問した時とは、目に見える状況は、大きく変化していて、初めはとまどうこともありましたが、例えば、大三島集会所での礼拝はなくなり、牧師館も集会所もありません。そこには、土地だけが残されています。しかし、私たちは、何よりも、大三島において導かれ救われて礼拝を



捧げ続けてきたキリスト者が日々、その地で祈りを捧げていることを喜び、ご家庭を訪問し、禱り交わる恵みを得ています。礼拝が捧げられていたその土地が、とにかく、荒れ果てた土地ではなく、常に管理し、花や野菜を植え、土地として生き返り、そこにまた人々が集うようになる道が示される時をその方と共に祈り、期待しています。安下庄にあ



る福音丸記念会堂（次頁写真）では、バプテストの群れとしての礼拝は現在行われていません。しかし、福音丸記念会堂は、カトリックの集会やミサ、そして、地域の方々の生け花や歌を歌う会などに用いられ、開放されています。元おさなご園の内部は、きれいに改修され、宿泊が可能となっています。目に見える形、やり方は、変わっていくけれども、一つ一つの出来事に、場所に、そして一人一人に向かう神様の救いのご計画は、決して変わらない。

そのように神様が自身が働かされていることをいつもリアルに感じさせてくれる上記の箇所には私はいつも励まされてきました。私は、ただ、土に種を撒くことに忠実であればいい、成長と実りは神様の力、それなのに、実の刈り取りはまた任せてくださるなんて、と、驚くばかりです。私が一番心に刻みたいのは、神様が働かされているその過程を「その人は知らない」という言葉です。ここからいつも、人間の知恵や努力を超えた力を謙遜に受け止めるよう促されるのです。何か自分がやっていると、傲慢さを悔い改めさせる、私にとって大切な御言葉になっています。



バーベキュー大会



九月十七日の祝日に、広島中央森林公園にて、夏期レクリエーション・バーベキュー大会が行われました。広島平和教会から幼児、小学生も含め、28名、向島教会から、小・中・高校生を含めて21名、瀬戸田と土生で3名と、とても賑やかな集いとなりました。何よりも、賛美と礼拝に子どもたちの元気な声が響き、周りのサイトにいる皆さんも楽しそうだなあと眺めていました。女王の滝への散策は、豪雨被害で道の修復がなされずに中止となりましたが、野原で宝探しをしたり、シャボン玉で遊んだり、幼い子どもたちを小中学



生の子どもたちがよく面倒を見てくれて、楽しい時間となりました。バーベキューは、火おこしの達人! クック牧師が設営リーダーとして活躍して下さり、ランチタイムもスムーズでした。午後のお楽しみの中には、綿谷則子姉の伝道腹話術が、とっても楽しかったです。広島空港が見渡せる丘で、何基かの発着を楽しみ、賛美を捧げ、それぞれの地に戻りました。子どもたちの姿に、大きな励ましと希望をいただいた一日でした。主に感謝。

(瀬戸田 石塚多美子)

森のコンサート



十一月二日に兵庫県の猪名川キャンプ場で毎年行われる「森のコンサート」に内海部会から初めて参加しました。子供たち3名を含め、全員で16名の参加でした。広島平和キリスト教会は野村さんのオカリナ演奏とクップ先生のオリジナルソングを披露され、瀬戸田バプテスト教会と向島キリスト教会の合同チーム(チーム名「瀬戸の風」)は故仲重ひとみさんの詩を歌にした「瀬戸の海から」他、3曲を歌い、讚美に合わせてタンバリンダンスとワッシュダンスも披露しました。ゴスペルソングは勿論、懐メロあり、楽器演奏ありで、どのチームも力強く喜んで



歌われている姿が素敵でした。私は30年程前に新生保育園の保育士をしていた時に夏のキャンプで一度ここを訪れたことがあるのですが、その時から比べると、かわいいチャ

ペルにバンガロー等、施設が充実していて驚きました。前日から泊まらせていただき、朝は持ち寄りの楽しい朝食を食べ、お昼はかまどから出てくる熱々のピザとおにぎりに豚汁で、霊も心も体(お腹)も大満足の時を過ごしました。向島キリスト教会から車で3時間半かかり、少し遠いのですが、また参加したいと思いました。

(向島 綿谷則子)

内海部会 女性会

二〇一八年内海部会女性会

会長・瀬戸田バプテスト教会

伊澤由香里

内海部会女性会総会・修養会は二〇一八年五月十二日(土)に向島キリスト教会に於いて開催されました。参加人数は5教会、19名、近藤牧子全国女性会委員長の陪席のもと総会が開催され、二〇一七年度の各報告、二〇一八年度計画案が承認されました。4年があつと言つ間に過ぎ、今年度から瀬戸田バプテスト教会が担当になります。向島キリスト教会の方々がとうとうございました。

修養会は石塚多美子師の指導によりタンバリンダンスを皆で四苦八苦しながらも楽しく踊ることが出来ま

した。

十月一四日にとても綺麗になった小豆島バプテスト教会を問安させて頂きました。参加者は毛利秀子姉と私伊澤との二人でしたが、朝六時に瀬戸田を出発し新岡山港からさらに船で一時間かけて小豆島に着きました。

小豆島バプテスト教会では中家京子師の礼拝に出席させて頂き、初めて聖書と出会い、主イエスキリストの話を聞いた時の事を思い出しました。

小豆島バプテスト教会では長老格の原田兄が大きな病気をなされた後でしたが、一緒に礼拝を守る事ができました。中家京子師を入れて九人での礼拝でしたが皆さんとても喜んでくださいました。

礼拝後は美味しいゆう麺やお弁当をいただき、皆様と楽しくお話をしていると時間があつという間に過ぎていきました。帰りの船の時間が迫ってきてしまい、バタバタと教会を後にして帰途につきました。



中島伝道所へ問安に行つて

向島キリスト教会 三阪真子
主の御名を賛美いたします。

去年度、私達、向島キリスト教会は、内海部会女性会の当番教会として最後の年で、愛媛県の中島集会所へ三月二五〜二六日に問安に行つてきました。ちょうど春休みに入ったところでしたので、大谷牧師家族と他大人3名、小学生2名で車2台に分かれて、主日礼拝後お祈りをしてから向島を出発しました。天気にも恵まれ、しまなみ海道を渡り、大きなカーフェリーに乗り、途中で石塚先生と合流して、良い交わりの場となりました。子供たちは普段の移動



は車が主なので、大きなフェリーが珍しく、甲板に行つたり、景色を見たり、とても楽しそうでした。

夕方、神様に守られ、無事に中島に到着しました。それから車で中島集会所へ。中島集会所の庭には、ミカンの木や、金柑の木などが植えられており、たくさん実をつけていました。少し収穫をさせてもらい、礼拝が夜の8時からだと聞いたので、宿泊先に向かいました。宿泊先は集会所からとても近く、そこでりっぱな鯛の煮付け等の夕食を頂き、礼拝に備えました。

礼拝メッセージは大谷牧師がされました。男性1名、女性4名が出席され、私たちも出席したので、会堂があつという間にいっぱいになりました。ひとりの女性の方が「今日はあなたたちが来てくれたから、たくさんの人だけど、いつもはガラガラなのよ。だから今日は、とてもうれしいよ。」とおっしゃっていた言葉がすごく胸にしみました。神様はどんなに少ない人数でも、こうして礼拝をしている方たちを祝福してくれているんだと思われました。

礼拝後は、女性の方たちによる手作りの何種類ものスイーツで交わりの時をもって下さいました。それはまるで、どこかのホテルでのスイーツパーティーのようで、頂きながら、普段なかなか会うことのできない方たちと交わりをし、とても楽しいひとときを過ごしました。それから宿

泊所へ帰り、各自休みました。

次の日、朝少し中島を観光すると聞いていたので、どんなところに行くんだらうと思いつながら宿泊所を出りました。地元の方と合流して、りっぱな家のタンスや家具、昔そこで手作りされていたという醤油作りの道具を見せていただきました。今はなんでも機械で作るのがあたりまえになっていますが、昔は全部、手作業だったんだ、とてもたいへんだっただろうなあと感じました。また、山の頂上にも案内していただき、途中ガードレールが無かったりで、少し不安もありましたが、とっても景色がきれいで、瀬戸内の島がとてもきれいに見えました。海岸も少し散策し、砂浜の砂が、こちらの砂より粗いことに驚き、また、神様のみわざを感じさせられました。

神様に帰りも守られ、無事に向島へ帰ることができました。

私はこの問安で一番感じたことは、神様はとても偉大な方で、どこにいても何をしても一緒にいてくださる方なんだと改めて感じ、思わせられました。

これからも神様だけをいつも見あげて信仰生活を歩んでいきます。よつに...アーメン。

内海部会 講壇交換

二〇一八年一〇月に講壇交換を行いました。小豆島は教会の都合によ

り、十四日に年間を通して説教している中家京子姉が担当し、他の教会は二十一日に、土生は大谷師、瀬戸田はクップ師、向島は石塚師が担当して行いました。広島は林原師の担当でしたが、林原師が体調を崩した為、急遽テープによる説教で行いました。

(文責:大谷孝志)

内海部会 教師会

内海部会の教師会は4名の教師によつて成り立っています。二〇一七年度から瀬戸田教会に石塚師が赴任し、教師会が二回開かれ、活動が少しずつ活性化しています。

二〇一七年一〇月一〇日の教師会では、大谷師の説教を用いて説教演習を行った後、各自のテキストの選び方等について語り合いました。内海部会の教会同士の交わりを深める方策について語り合いました。例年関西地区で開かれている内海・関西合同教師会を来年度は内海で開く方針と候補地を確認しました。

二〇一七年一月八日の第二回教師会では、部会委員の教師会としての推薦者を確定しました。その後、内海伝道団の組織と位置づけ、職務分担について語り合いました。また、福音丸新報発行においても職務分担が必要であると確認し、総会で話しあうことにしました。

(文責:大谷孝志)

バプテストマおめでとう

広島平和キリスト教会

広島キリスト教会では、八月十九日4人の子どものバプテストマが行われました。信仰告白のあかしを紹介し、「信じてバプテストマを受ける者は救われます。マルコの福音書16章16節」
(広島 トウン・カン・カップ)



チンハウリヤン (はな) (小2)

わたしはイエス様を信じています。いつもともいってくださるからです。イエス様を信じると天国へ行きます。ですから、イエス様を信じてバプテストマを受けます。

元吉夢華 (小3)

イエス様を信じなかったら、一人で生き続けられませんか。イエス様を信じたらイエス様が共にいてくださいます。そして天国へいきます。ですからイエス様を信じます。バプテストマを受けます。

元吉未来 (小2)

イエス様を信じると罪がゆるされ天国へいきます。だからイエス様を信じてバプテストマを受けます。

元吉星羅 (小1)

わたしは天国へ行って神様と会いたいです。

向島キリスト教会

四月一日のイースターに教会学校生徒の三阪朋子さんが、次のような信仰告白をしてバプテストマを受けました。教会員の家族、教会学校生徒の救いは、向島キリスト教会にとって大きな喜びでした。



「どうしてやろうとおもったかという」と

三阪朋子 (小4)

ママがなっているからなりたいとおもったとおもいました。たかがきさんがやっているのもみたのでやってみようとおもいました。

かみさまはほんとうに、かみさまがほんとうにいるので、いつもみまもってくれたりするのであんしんです。かみさまはじぶんのためにしんでくれたんだとおもいます。すぐくうれいし、いきかえってくれたのでよかったです。

ママのゆうことをきいたり、すぐおこらないこととかをしていきたいとおもいます。

かみさまのことをおいりすることしゆくたいをやることをこれからもつづけていきたい。

この後、朋子さんが使徒信条を告白し、満場一致でバプテストマを施すことが承認され、式が行われました。
(向島 大谷孝志)

東から西から

伊藤静野姉の生涯 小豆島バプテスト教会

今、小豆島バプテスト教会の教会員であった故伊藤静野姉の生涯について、映画の制作が行われています。静野姉は小豆島の菓子司の老舗「岡田長栄堂」の次女として生まれました。

福音丸が小豆島に往来した土庄町でも福音丸の働きにより早くから教会が設立されました。岡田家は仏教と特別に深い関係にある中、静野姉は小学校を卒業すると姫路のキリスト教主義のミッションスクール日ノ本女学校（現日ノ本学園高校）に進学しました。家族からはかなり反対があつたことと思われませんが、静野姉の持つて生まれた強い意志とキリスト信仰への思いにより達成されたものと思われまます。

時を経て、静野姉は土庄バプテスト教会（現小豆島バプテスト教会）においてバプテストを受け付けております。当時、伊藤戒三師は土庄バプテスト教会の主任伝道師でした。その後、戒三師と結婚しました。戒三師36歳、静野姉20歳でしたが、二人は直ちに戒三師の任地川崎教会に赴任。戒三師は生命の限界ぎりぎりの体で

人びとに奉仕を続け、川崎に来て一ヶ月目に倒れ、愛する妻に永遠の訣別をしました。106日の結婚生活でした。戒三師の遺志により、奈良の嘉手納牧師が静野姉のために幼稚園を開設されました。戒三師によって培われた信仰と気力によって戦争中の最も苦しい時に私財を通じて幼稚園を守り抜きました。

時を経て小豆島に帰島後、幼児教育の経験を身に着けた静野姉は、町立保育所「愛の園」を設立、また、小豆島バプテスト教会にベビーセンターを開設しました。島でのキリスト教会は異教徒的な存在として見られる中、教会執事として私財を投じ、教会の運営にあたって来ました。愛の園保育所を退職後は長栄堂の家族を支え、お店で働く人たちからも慕われていました。

そんな中、長栄堂の孫娘の育児の手伝いのために大阪へ出向いた際、「明日、島に帰る」と言っておみやげを買ったその夜、突然の心臓発作で倒れ、平安のうちに天に召されたのです。静野姉の荷物の整理をしていると財布の中には幾百円のお金しか残っていませんでした。

時は過ぎ、そのことが、長栄堂の孫娘、壺井尚子さんより人間塾設立者である井上和子さん（鳩山郁夫・

邦夫の姉）の知るところとなり、ぜひ映画にしたいとのこと。今、制作が進められているとのこと。

（小豆島 原田喜代子）

オープンチャーチ「タラント」 向島キリスト教会

ーリバイバルへー

向島キリスト教会

佐藤ますみ

ハレルヤ！主の御名を讚美致します。

今年の四月から教会でカフェを始めました。どなたでも気軽に立ち寄り、歓談やくつろぎの場として宗教にこだわらない空間作りをしています。それは神様を知らない人達が抱く教会への偏見や誤解を払しょくするためです。これらは時に福音の妨げとなってきました。とは言え、「タラント」の名には大きな意味を込めています。奉仕者の賜物が生かされるようにと祈ったのは無論ですが、来客が馴染みのないカフェ名に目を留め、由来を尋ねてくれたらと。その時は聖書を語れる機会となります。それほど、未信者を教会に招き入れるのは微妙で繊細でもあります。かつて新会堂設立の案が出た時、地域に開かれた教会を願ってカフェ開設を有志で臨んでいました。そして今、主は私たちを用いて下さいま

した。きっと主はタラントを大いに祝福し、福音へと前進させて下さるでしょう。

オープンチャーチ・タラント

毎月火曜日（第2・第4）
10時～16時
コーヒー（ブレンド）
紅茶（ダーズリン・アールグレイ）
※いずれもお茶うけ付の100円です

福音丸・オルガンコンサート 瀬戸田バプテスト教会

瀬戸田バプテスト教会

伊澤岩雄

私の合唱仲間地域計画研究所と言う事務所を持ち色々活躍している人がいます。

横浜南教会の櫻井淳伝道師の元の職業と同じような仕事をしている人ですが(たまたまですが)交流があったようです。何かの折りに福音丸オルガンの話がでて、しばらくしてオルガンを見たいと教会を訪ねて来ました。そしてこのオルガンでコンサート開催したい旨の申し入れがありました。彼が所属している「文化かおる島サポートクラブ」と言う市民団体が主催すると言うのです。場所は平山郁夫美術館の展示室だそうです。そのクラブは美術館の館長が代表者です。一般開放が終わった閉館後の開催とのことでした。

市民団体が教会のオルガンでコンサートを企画することは希なことなので喜んで申し入れを受け、十月二十七日(土)に開催されました。

出演者は因島出身のオルガニスト上杉智穂氏と、関西で活躍する声楽家池田尚子氏との共演です。270席用意したホールにはほぼ満員のお客様さんが入り、小さなオルガンがどれ

だけ響くか心配しましたが、実に爽やかな音を響かせてくれました。

初めに、みんながよく知っている讃美歌を3曲、実に柔らかな美しい声で讃美し。続いてオルガンソロを含め外国の曲と歌曲、日本の唱歌が演奏されました。休憩後は童謡と現代曲、ジャズの曲をオルガンで演奏、どれも親しくやさしい曲ばかりを19曲演奏されました。教会の本当に小さいオルガンに、会衆一同満足したようです。最後にアンコールで全員合唱でふるさとを歌い終わった途端に足踏みのペダルが外れるハプニングにびつ



くりでした。良くこれまでの演奏に耐えたと思えました。

幸い、オルガンの修理をして下さったオルガン工房の和久井氏(長野県須坂)が立ち寄ってメンテナンスをして下さり、演奏会を助けて下さったことも喜びました。

プログラムには12年に渡る福音丸伝道の経緯等の紹介があり、良い伝道のチャンスでした。又、友人はしまなみ海道バスツアーの一部に教会でオルガンを聞く企画も立てて紹介、開催をして下さっています。

CS活動について 広島平和キリスト教会

広島平和キリスト教会
CS担当 檀原直美

私たちの教会には「子どもに恵まれるように」というみんなの祈りが聞かれ、現在15人の子どもたちが与えられています。礼拝の中で教会員の奉仕による子どもメッセージを毎週行っています。「成長」を参考に話して、それについての簡単な問題と毎月の暗唱聖句を書き写すプリントを作り、牧師メッセージの時に使っています。礼拝中静かにできない時も多いけれど、みんなが目配りしたり注意を促したりして共に礼拝を守っています。

役員会ではCSの子どもたちについて意見交換し、接し方や保護者への話し方について確認しています。その中で一人一人の成長に気づかせれども感謝しています。八月に4人の子どもたちがバプテストマを受けましたが、白い服が人数分なくて慌てたことも良い思い出です。

CSとしては、子どもたちに教会の中で居場所を作るのが大切だと思っています。大人に何かをしてもらう経験ばかりでなく、小さなことでも役目を果たす「食事の時に箸を配る、汚れた自分の皿を片付ける、クリスマス祝会で何か発表をする、などが将来の礼拝奉仕へとつながっていくように希望しています。高学年になった子どもにも、続いて教会へ来てもらえるためにはどうしたらいいか考えることが今後の課題となります。

子どもたちにはこれからきつといろんな困難な時があるでしょう。その時に教会で聞いた話を少しでも思い出し、「大人もきつとみんな苦しかったんだな」と思ってくれればいなくてもラクになってくれればいなど願っています。



教会短信

小豆島バプテスト教会

現在無牧で井上正之牧師が代務者になって6年目を迎えました。

礼拝参加者は6〜8名で説教は教員でもある中家京子先生が月2回(冬は1回)無償奉仕して下さい、感謝しています。聖餐式も受けることができ大変恵まれております。中家秀雄兄も共に参加されいろいろとご奉仕を頂いております。井上牧師は、年間3回の説教と聖餐式をして下さりご指導を頂いております。それ以外は、藤井勇次牧師から頂いたテープで礼拝を行っています。

○恵みと讚美の時

月1回、土曜日の3時から中家先生ご夫妻を囲んで、讚美歌を歌い、紙芝居の題材から聖書の学びをしております。



○3教会合同イースター礼拝

日本基督教団内海教会の荻野秀夫伝道師主催で四月一日に開催しました。

十二月十五日はクリスマス礼拝の予定です。

○召天者記念礼拝

今年のことには、七月一日に召天された笠井節兄に祈りを捧げました。64年間の長きに渡り、信仰生活を全うされ、81歳で天に召されました。○内海部会女性会による問安を頂きました。十月十四日、伊澤姉、毛利姉が訪問して下さい、よき交わりの時が持てました。感謝です。

(石本恭子)

向島キリスト教会

向島キリスト教会は今年度最初の日に大きな喜びが与えられました。



小学4年生が信仰を告白してバプテストを受けました。教会学校の生徒は小学生2名、中学生1名ですが毎週のように出席しています。苺やサクランボを摘んで楽しんだり、部会の行事として行われた関西西部会森のコンサート出演には10名が前泊して参加しました。夏期レクレーションは教会に広く呼び掛け、21名が参加しました。

女性会も担当教会としての2年の任期を無事終えることができました。また部会女性会の行事として中島問安をし、多くの恵みを頂いたことも感謝でした。壮年も少しずつ増え、壮年会ができるよう願っています。クリスマス礼拝は持ち寄り愛餐会をした後、皆で祝会を楽ししい時を過ごします。クリスマスキャンドルライトサービスには市内のフルート奏者を招いて、近所の方や普段礼拝に来られない方々が来やすい礼拝を守る予定です。

(大谷孝志)

土生バプテスト教会

&重井集会所

一月十五日、楠見久枝姉(99) 召天、二月三日、石河陽子姉召天、八月十三日、宮地美恵子姉召天、五月六日(日)、土生バプテスト教会定期総会

七月七日、特別警報(大雨)広島県に特別警報が出て、最大級の警戒を呼び掛けた。尾道市の断水が七月七日から起り、生活

に支障。七月十五日の土生バプテスト教会礼拝は宇和部区のと砂崩れのため田





熊幼稚園で行う。(尾道市の断水と土生小学校運動場の上の道路が被害。田熊保育園では断水のため田熊幼稚園の井戸水を給水タンク(庄原の本泰章兄が購入持参)でピストン輸送にて毎日給水。元田熊幼稚園中学校庭に東北より自衛隊が給水支援。

十月、利府聖光幼稚園(宮城県)園長、遊佐久雄兄より夏の豪雨災害を覚えて、園児と共に捧げられた献金が重井、田熊幼稚園に送られた。十一月十五日(木)松平季子姉の重井幼稚園での楽しい歌の集い、十一月十六日(金)田熊学園での松平季子姉の楽しい歌の集い。(林原弘)

瀬戸田バプテスト教会

瀬戸田バプテスト教会では、今年度に入って新しく、原伝道所での礼拝を始めました。昨年より、祈祷会を重ね、日曜日に来られない方、瀬戸田まで車の足がない、生口島の南側にいらっしやる方を覚えて、月1回行っています。また、カチン族の青年団が開墾した畑が充実し、春にはソラマメをはじめさやえんどう、スナップエンドウが、豊かに実りました。博愛幼稚園の年長児が、ソラマメの生育の観察と収穫に何度か訪

れ、内も外もとても賑やかで、近所の方々も喜ばれています。また、関西西部会の教師やスウェーデン宣教師の方々も訪れ、修養会やキャンプ、また、短期ボランティアの宿泊所として用いられる器であることを喜んでくださいました。十二月の礼拝は、地域の方々を招いての「クリスマス集い」を計画しています。瀬戸田と原での宣教の業がつかっています。ますようお祈りください。

中島集会所

中島集会所では、広島平和教会トウンカンクツ牧師の協力もあり、毎月2回の礼拝を続けています。十二月九日には、毎年恒例の、瀬戸田・

中島合同礼拝が行われ、そのあと、「子どもクリスマス会」を行います。昨年は、島の子どもたちが結構たくさん集ってくれて、先日登校前の子どもたちにちらしを渡したら、「あの、十字架があるところだよね。去年いったよ。」と楽しみにしてくれている様子に励まされました。西日本豪雨でミカン畑や有機農法をされている農家の方々の畑に大きな被害がありました。皆さん忙しそうに働かれています。皆さん忙しそうに働かれています。皆さん忙しそうに働かれています。

大三島礼拝堂跡地

大三島礼拝堂跡地には、信徒の方を訪ねる際に必ず訪れ、その土地で祈りを捧げてきました。今年に入り、やっと具体的に土地の整備にとりかかりました。七月、伐採などはシルバーボランティアの方々に頼りましたが、その後、神学生と草取りをし、ハーブの苗を植えました。また、信徒のお連れ合いの協力によって、勢い収まらぬ草刈りをこの十一月に行いました。いつもはなかなか会えない近隣の方々と話す時が与えられました。その方は大三島教会幼稚園の卒園児でした。そのこともあり親しい交わりを与えられていることを感謝しています。

(石塚多美子)



広島平和キリスト教会

広島平和キリスト教会は災害から4年経ちました。皆さんのお祈りと支えを感謝しています。

広島平和キリスト教会で信者の方々には何もなかったのですが、七月の台風の大雨による災害が西日本の広い範囲に起こり、牧師と信徒たちがボランティアに行きました。広島宣教協力会から被害を受けた部会の方々に、お見舞いをして頂き感謝でした。4年前の災害のこともあり、クップ牧師が防災士の資格を取得したことで八月に中国新聞と東京新聞に掲載され、教会の存在を地域の方々にさらに知っていただくことが出来ました。

地域の子どもたちのため今年四月からキッズブラウン(子ども英会話)が始まりました。教会バザー、チャペルコンサートなどもいつも通り続けることが出来、近所の方々も来られました。料理を作ることを通して、近所の方々との交わりを増やし、伝道に繋がったらと思っています。

もう一つのお祈りの課題は隣接の空家を手に入れることです。礼拝堂以外に小部屋なく、特に子どもたちは困っています。それから駐車場にもなるからです。

(タウン・カン・クップ)



主は言われる

イザヤ書 55章 8～9節
エレミヤ書 29章 11節

曲: Tuang Khan Khup

♩ = 106

わ た し が の た お の も た い め は の あ わ な た し が た の け お い も か い
 と は こ と き な わ り い こ で と は な な く り て 二 わ たい
 し あ ん ど の き み ほ ち う は を あ あ な た た が た の の み た め
 と こ あ と た な え る か も ら の だ だ 一 Bm
 天 が 地 よ り も た か い よ う に わ た
 し の み ち は あ な た が た の み ち
 よ り も た か く 一 天 が 地
 よ り も た か い よ う に わ た
 し の お も い は あ な た が た の お
 も い よ り も た か い 一

Copyright (c) 広島平和キリスト教会2017

内海で生まれた讃美

内海部会から少しずつ新しい讃美が生まれています。ぜひ、讃美集として発行したいとのビジョンが与えられています。今回は2曲を紹介いたします。

「主は言われる」

広島平和キリスト教会

タウン・カン・クップ

二〇一七年十一月、日本バプテスト同盟の全国信徒会が広島で行われるので広島平和キリスト教会として何かをしないわけには行けないと思われました。広島平和キリスト教会と

瀬戸の海から

作詞:仲重ひとみ 作曲:綿谷 剛

♩ = 100

イエスのかぜーがひとびとをかこーみよ
ろこびのあめがふりそそぐり
パールセとのうみからーり
パールにほんのくにへーたま
しいがみちびかれるー

Copyright©向島キリスト教会 2004.2.1

して歌を1曲作りましようという役員会で相談し、教会員に自分の好きなことばや聖書の御言葉など何でも良いから教えてくださいと頼みましたら、野村篤子姉から新改訳のイザヤ55章8〜9節の御言葉を渡されました。それにメロディーを付けて見たら歌えるようになり嬉しかったです。それにエレミヤ書29章11節を加えました。部会委員会の時に全国信徒会で歌う事に決め、向島教会の綿谷兄が編集して楽譜にして下さってできあがりました。この曲を通して色々なことが学ばされたのです。主の御名

をほめたたえます。

「瀬戸の海から」

向島キリスト教会

綿谷 剛

この讚美は仲重ひとみ姉の作られた詞に曲をつけたものです。

仲重ひとみ姉は、幼い頃にポリオに罹り障がいが残る不自由なお身体で生活する中、神様に出会われまして。晩年は乳がんや脳腫瘍に侵され闘病しながらも、まっすぐな信仰で祈りの人でした。

「家事をしながら讚美を口ずさんでいると力が湧いてくるのよ」といつも嬉しそうに言っておられました。ある時、仲重姉から讚美の詞が浮かんできたので曲をつけてほしいと、いくつかのメモをいただいています。その中の一つが「瀬戸の海から」です。福音丸伝道によって始められた内海の伝道が再び燃え上がり、福音が日本全国に広がっていくことを夢見て歌詞を書かれたのだと思います。

そのときはうまく旋律がつけられず、生前に一緒に歌うことができなかったことが心残りですが、こうして教会の方々と一緒にこの讚美を歌うときに、きっと天国で笑顔で一緒に歌ってくださっているだろうと思いを描いています。

【編集後記】

今年度、部会委員長が伊澤岩雄兄から石塚多美子師に変わり、「福音丸新報」の編集を部会委員3名(石塚・大谷・綿谷)が編集委員となって行うことになりました。編集作業は初めてで紙面を埋められるのが当初は不安でしたが、各教会からたくさん原稿を寄せていただき、今年度は増ページとなりました。感謝。

これからも福音丸伝道により誕生した教会の群れの今を皆さんにお伝えしていきたいと思っておりますので、今後ともお祈りとお支えをよろしくお願い申し上げます。

(編集委員 綿谷 剛)



福音丸伝道継続事業献金感謝

2017年度 献金感謝一覧

団体・教会名称	団体・教会名称	団体・教会名称
関東学院中学校高等学校	日ノ本教会	関西部会新年礼拝
関東学院六浦小学校	山下バプテスト教会	小豆島バプテスト教会
捜真女学校中学高等学校	大阪神愛教会	土生バプテスト教会
捜真小学校	松島キリスト教会	瀬戸田バプテスト教会
捜真小学校PTA	奈良佐保キリスト教会	広島平和キリスト教会
厚木幼稚園	越谷伝道所	-

氏名	氏名	氏名	氏名
大谷孝志兄	矢田部俊夫兄	柏原千代枝姉	野村篤子姉
中家秀雄兄・京子姉	中登志子姉	関田明美姉	島田秀子姉
森内和子姉	古野有子姉	生駒桂子姉	伊澤岩雄兄・由香里姉
蟹川京子姉	小野慈美兄	横瀬実兄	石塚多美子姉
原田哲雄兄	荒川貞雄兄	丹野真人兄	藤崎亮二兄
嘉手納夙子姉	藤井勇次兄	中本仁一兄	長谷川温雄兄
水戸川佳子姉	臼井嘉男兄	-	-

内海部会以外教会・団体 14	内海部会教会・団体 4	個人 26	合計 44	前年 38
----------------	-------------	-------	-------	-------

内海伝道団会計報告・予算

	項目	2017年度予算	2017年度決算	2018年度予算
収入	内海外教会団体	200,000	202,582	200,000
	個人	130,000	271,000	200,000
	前年度繰越	189,716	189,716	281,458
	合計	519,716	663,298	681,458
支出	開拓応援伝道費	150,000	119,000	200,000
	諸教会応援費	80,000	80,000	50,000
	福音丸新報印刷費	100,000	100,000	100,000
	振替手数料	5,000	3,900	5,000
	送料	30,000	10,080	
	事務費	4,000	0	20,000
	予備費	50,000	68,860	50,000
	次年度繰越金	100,000	281,458	256,458
	合計	519,716	663,298	681,458

開拓応援伝道費は各教会の開拓伝道費の補助
 諸教会応援費は中島集会所の補助

感謝とお願い

主のご降誕をお喜び申し上げます。
 瀬戸内海伝道団による福音丸伝道継続事業のためのお祈りを感謝申し上げます。
 内海部会も年々縮小化する傾向にありますが、今年も皆さまのお祈りとお支えにより、主の御業の一助としての活動ができますことを感謝致します。
 どうぞ今年もご支援のほどをお願い致します。
 瀬戸内海伝道団会長 石塚多美子
 ☆献金の送付は同封の郵便為替用紙、または「瀬戸内海伝道団」口座番号 01340-3-11913 にお願ひ致します。

県	教会名	郵便番号	住所	電話	牧師
香川	小豆島バプテスト教会	761-4121	小豆郡土庄町淵崎甲2071-22	0879-62-2053	井上正之師(代) 中家京子師(補)
広島	向島キリスト教会	722-0073	尾道市向島町16058-22	0848-44-2762	大谷 孝志師
広島	土生バプテスト教会	722-2323	尾道市因島土生町1602-1	0845-22-0593	林原 弘師
広島	土生バプテスト教会 重井集会所	722-2102	尾道市因島重井町3055	0845-25-0134	(兼)林原 弘師
広島	瀬戸田バプテスト教会	722-2411	尾道市瀬戸田町瀬戸田378-1	0845-27-0173	石塚多美子師
愛媛	瀬戸田バプテスト教会 中島集会所	791-4501	松山市中島大浦2107-10		(兼)石塚多美子師
広島	広島平和キリスト教会	731-0101	広島市安佐南区八木3-5-17-10	082-872-1150	トッソ・カン・クッソ 師